

市民まちづくり局

一般会計要求総額

8,938,547千円
(対前年度 +41.9%)

< 要求の基本的考え方 >

市民自治が息づくまちづくりを目指して、地域の主体的なまちづくり活動に対する支援を行う。

市民にとっても訪れる人にとっても魅力あるまちにするための都市整備を行う。

(単位：千円)

市民の主体的な地域づくりの支援	- 主要事業 -	要求額
	地域の交流の場普及促進事業	2,000〔地域振興部〕
	市民まちづくり活動促進総合事業	46,338〔地域振興部〕
将来を見据えた魅力ある都市の整備	大通交流拠点再整備構想検討事業	11,000〔都市計画部〕
	札幌駅交流拠点再整備構想策定費	8,000〔都市計画部〕
	地域特性に応じた土地利用の再構築事業	10,000〔都市計画部〕
	道路交通調査	74,000〔総合交通計画部〕
	札幌駅前通地下歩行空間活用推進	177,000〔総合交通計画部〕
	北海道新幹線推進	20,734〔総合交通計画部〕
その他	平和都市宣言普及啓発事業	9,500〔地域振興部〕
	消費者行政活性化事業	50,330〔市民生活部〕

：新規事業

● 地域内の交流を支援

地域の交流の場普及促進事業

子どもからお年寄りまで誰もが気軽に交流を深め、つながりのある快適な地域づくりを進めるため、町内会等が開催する「地域の交流の場」を支援します。

事業費：2,000（新規）
 主な内訳：アドバイザー等派遣 1,800
 広報活動支援 200
 達成目標：支援箇所数
 H22 15か所



● 消費者行政の活性化

消費者行政活性化事業

消費者の安全・安心を確保し、消費生活の安定と向上を図るため、相談体制の整備強化や消費者センターの改修による機能強化などを行うとともに、消費者啓発・教育の充実を図ります。

事業費：50,330
 (21年度予算額 44,660)
 主な内訳：
 相談体制の整備強化 15,343
 消費者センター改修 23,421
 消費者啓発・教育 11,566

● 魅力あふれる都心の拠点づくりを進めます

札幌駅交流拠点再整備構想策定

道都の玄関口として相応しい、札幌駅交流拠点の将来的なあり方について、基本的な考え方をとりまとめ、再整備構想として策定します。

事業費：8,000（前年度予算額 10,000）

主な内訳：検討委託料 7,027

事務費 973

達成目標：H22 再整備構想の策定

22年度効果：再整備構想の策定

● まちづくりと連携した交通戦略を検討します

道路交通調査

21年度末に道央都市圏「都市交通マスタープラン」が策定されます。その実現のため、札幌市ではまちづくりと連携した、概ね10年間の実施計画となる交通戦略を検討します。

事業費：74,000（21年度予算額 38,000）

主な内訳：交通戦略の検討 8,370

将来道路網検討 5,000

道路交通センサス 55,900

達成目標：H23（仮称）札幌市都市・地域総合交通戦略の策定



● 北海道新幹線の誘致

北海道新幹線推進

新幹線の効果を確実に発揮するためのまちづくりを検討するほか、早期実現に向けた中央要望や市民啓発活動を行います。

事業費：20,734

（21年度予算額 15,000）

主な内訳：中央要望 1,480

啓発活動 1,500

関連事業調整・まちづくり検討 14,000



< 主な見直し項目（効果額） >

その他の見直し

- ・ 市税事務所設置に伴う区役所施設維持管理費の見直し 61,800
- ・ 事業の効率化等による補助金の見直し 17,345
- ・ 一般事務費の削減 67,958